

第1回 「芳賀・宇都宮LRT停留場名称検討委員会」結果概要

- 日時 令和元年11月27日(水) 午前9時30分～午前10時35分
- 場所 中央生涯学習センター 601大ホール
- 内容
- 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 「芳賀・宇都宮LRT停留場名称検討委員会」の設置について
 - 4 議 題
 - (1) 名称選定に係る基本的な考え方について
 - (2) 名称候補選定基準について
 - (3) 検討フローについて
 - 5 その他
 - 6 閉 会

【主な発言の要旨】

2 あいさつ

【宇都宮副市長 鎌田 秀一】

- ・ 芳賀・宇都宮LRT事業については、本市及び芳賀町、宇都宮ライトレール株式会社で進めており、昨年6月から工事に着手し、現在、用地の取得を進めるとともに、鬼怒川橋りょうや車両基地などの工事を進めているところである。
- ・ LRTの停留場は、今年度から整備が始まるが、現在、仮称であることから、本日、名称検討委員会を立ち上げ、沿線地域のご意見を十分踏まえるとともに、各委員の幅広い視点・観点からご意見をいただきながら、市民・町民の皆様に「分りやすく・親しみやすい名称」となるよう、皆様方のご協力をいただき議論を重ねていきたいと考えている。

3 「芳賀・宇都宮LRT停留場名称検討委員会」の設置について・・・資料1

【事務局】

- ・ 資料1 説明
- ・ 委員長選出及び副委員長指名
(設置要綱に基づき、古池委員を委員長に選出、橋本委員を副委員長に指名)

【古池委員長 あいさつ】

- ・ 芳賀・宇都宮LRT事業については、これまでさまざまな形で携わってきたところである。
- ・ 現在は、鬼怒川橋りょうや車両基地などの工事に着手して、今後、車両の製造などを進めていくと伺っている。
- ・ 本委員会において検討するLRT停留場名称については、一部の地域から市に対して要望書が提出されるなど、地域の方々の関心が高い内容である。
- ・ 停留場の名称は、地域の歴史や地域性を表すものとなることから、有識者委員からの専門的な知見や地域委員のさまざまな意見をいただき、十分な議論を重ねていきたいと考えている。
- ・ これから議論を重ねていくうえで、市民の意見をどのように反映させるかなどいろいろな議論が出てくると思う。各委員の皆様にご協力をいただきたい。

4 議題

(1) 名称選定に係る基本的な考え方について・・・資料2

【事務局】

- ・ 資料2 説明

【委員長】

- ・ 皆様から意見等があればお願いします。

【中尾委員】

- ・ 資料2の「名称選定に係る基本的な考え方（案）について」において、考慮すべきキーワードとしては、「公共施設の名称」、「分かりやすく示す明示性」、「公共施設としての公平性」「永続性」であると考えている。
- ・ また、別紙1のLRT停留場位置図を見ると、現在の仮称の名称では、公共施設ではない名称もあり、その名称をなくしてしまうと分かりにくくなる停留場もある。
- ・ なお、公平性に欠くものとして考えられるのが、例えば、「ベルモール前」とすると「ベルモール」という企業名が出ることになる。私の経験として、企業名を停留場の名称にしたときに、ある団体から、「その企業の宣伝をするのか」との意見をいただいたこともあった。
- ・ 現在、仮称である「ベルモール前」、「作新学院北」、「本田技研北門」などは、公共施設の名称にするのか、あるいは、民間企業の名称にするのか。これらの名称を変えた場合には、利用者にとって、分かりやすくなるのかと相反する問題があるとともに公平性の問題もあることから、慎重に議論を進めていただきたい。

【委員長】

- ・ 中尾委員からの意見は、名称検討委員会の中でも難しい議論である。
- ・ 市民・町民が慣れ親しんだ名称がよいのか。現在、民間の施設の名称が仮称でついているが、その名称に変わる分かりやすい名前があるのか。
- ・ 今後、名称検討委員会で皆様と議論していきたい。

【地域委員】

- ・ 今後、検討を進めるうえで、別紙1では、例えば、平出高架橋の近くには「平出」と名称がつく停留場があり、その名称を変えた場合に、平出高架橋との名称の整合性を図るのかについては、今後の検討事項でもあると考える。

【委員長】

- ・ 高架橋や橋りょうの名称は、市の構造物としての名称であり、この名称が停留場の名称に直結する話ではないと思う。
- ・ 事務局から別紙1で青くなっている高架橋や橋りょうの名称と停留場の名称に係る考え方について意見を伺いたい。

【事務局】

- ・ 今後、停留場名称を検討していく中で、停留場の地域性を整理する機会を設けている。このような整理の中で、例えば、停留場の最寄りにある公共施設や地域資源などを整理しながら、停留場名称の分かりやすさということで、高架橋や橋りょうの名称も参考にしながら、別途検討を進めていきたい。

【中尾委員】

- ・ バス停の名称との整合性を図った方が利用者にとっては分かりやすいのではないかと考える。バス停の名称とLRTの停留場の名称がかけ離れていると、利用者が間違えるのではという懸念がある。
- ・ また、全国の駅などには、地域にまたがる場合があると思う。2つの地域の名称をつなげる場合、長い駅名がある。地域にまたがる場合の線引きが難しく、このようなことも併せて、検討する必要がある。

【委員長】

- ・ 結節点になるバス停との名称との整合性を図る必要があると思う。また、地域にまたがる場合に、どのような名称をつけるのかなどの課題があるため、名称検討委員会の中で議論していくということによろしいか。

【各委員，了承】

(2) 名称候補選定基準について・・・資料3

【事務局】

- ・ 資料3 説明

【委員長】

- ・ 資料3の名称候補選定基準（案）及び留意事項とネーミングライツは相反するところがあり、この2つをどのように両立するかは難しいと考える。
- ・ 財源の確保ということを考えると行政もネーミングライツは無視できない。両方を考えていくということで、今後、名称検討委員会で慎重に議論を進めるべきと考える。
- ・ その他、皆様から意見等があればお願いします。

【鎌田（美）委員】

- ・ 別紙3に「※ゴシック調の部分については、留意事項として参考としたもの」と記載があり、仙台市東西線の選定基準で「複数駅で類似した名称は避ける。」とある。この基準はゴシック調になっていないが、なぜ留意事項に加えなかったのか理由を伺いたい。
- ・ 特段の理由がなければ、分かりやすさを確保するうえで、大切なことなので、留意事項④として追加するのはどうか。

【事務局】

- ・ 分かりやすさという観点を踏まえ、紛らわしくないような形で、名称を選定していきたいと考えている。
- ・ 仙台市東西線は、路線の中で類似した地名があるということで、同じような名前をつけることを避けるため、最初から条件としたところである。芳賀・宇都宮LRTの地名は、類似した地名がそれほどないと考えることから、「複数駅で類似した名称は避ける」を留意事項からは抜いたところである。

【委員長】

- ・ 留意事項に設けていなくとも、名称候補を選定していく中で、都度対応していくとよいと考える。
- ・ その他、皆様から意見等があればお願いします。

【中尾委員】

- ・ **資料3**の名称候補選定基準（案）で7つの基準があるが、この7つの基準で考えたときに民間企業の名前が選定しにくくなる。
- ・ 例えば、JR宇都宮駅から本田技術研究所に行く利用者は、(仮称)「本田技研北門」を目指していくわけだが、もし地名にした場合は、「下高根沢」となり利用者にとって分かりづらくなるのではないか。軌道運送事業者の立場からは、利用者が分かりやすい駅名にさせていただくのがよい。そのような意味でも、「作新学院」や「ベルモール」も民間企業であるが、市民・町民が日常で使っている名称、親しみやすい名称、分かりやすい名称も反映できるよう、この基準を見直した方がよいのではないかと考える。

【委員長】

- ・ 現在仮称で企業等の名称がついているが、果たして、地名に変えることが適切なのかという話もある。
- ・ ネーミングライツを含め難しい課題である。公共性や公平性、特定の個人や法人への利益につながらないようにすることなど、本日、各委員からの意見を踏まえ、次回以降、議論していきたい。

【橋本委員】

- ・ **資料3**の【留意事項】の中に、「③特定の個人や法人（団体を含む。）への利益になるような名称は避ける。」とあり、ネーミングライツとの関係性を整理しておかないと課題が残るのではないか。この記載を残したままネーミングライツを導入するのは難しいと考える。
- ・ また、基本的な方針である基準とネーミングライツは趣旨が相反しているので、整合性がとれないと思う。
- ・ 「ベルモール前」や「本田技研北門」は地名よりも場所で考えるため利用者にとっても分かりやすい名称である。
- ・ 留意事項の「利益」という記載は避けて、見直した方がよいと考える。

【委員長】

- ・ **資料3**名称候補選定基準（案）については、事務局の方で見直すということによるか。
- ・ ネーミングライツは、市・町の財源確保ということで考えていかなければならないことである。両立するような形で【留意事項】③の記載を変えていただきたい。

【事務局】

- ・ 各委員からの意見を課題とし、今後、事務局で再度検討させていただく。名称の検討にあたり、この場で委員の皆様方から名称に関するご意見をいただけたらと考える。

【中尾委員】

- ・ **資料1**の検討事項の中に、「市民参加の方法」とある。また、**資料4**には、「市民参加のあり方」として記載がある。その市民参加については、現時点では、どのような内容かは分からないが、市民・町民の意見で、「ベルモール前」や「本田技研北門」がよいという結果になった場合には、どのように対応するのかという課題もあるので、市民参加をどのような方法で行うのかお聞きしたい。

【事務局】

- ・ 市民参加のあり方は、今後検討するが、そのようなことを対応できるような選定基準にしておかないといけないということは、本日、意見をいただいたので、検討させていただきたい。

【地域委員】

- ・ **資料3**の【留意事項】で「③特定の個人や法人（団体を含む。）への利益につながるような名称は避ける。」ことと「公共施設の有効活用による新たな財源確保の観点」と記載があるが、これらの関連をどのように考えているか伺いたい。

【事務局】

- ・ ネーミングライツについては、導入していきたいということで、表明しているが、詳細については、具体的に決まっておらず、不確定な要素があることから、関連性も踏まえ、今後、お示ししていきたい。

【地域委員】

- ・ ネーミングライツの導入について、さまざまな考え方もあるが、現実的な観点から、導入自体には賛成している。しかし、今後、名称検討委員会で議論するにあたって、現時点での方向性が見えない。
- ・ **資料3**には、「名称検討委員会において選定される名称候補とネーミングライツとの関連性など」と記載があるが、「など」の捉え方によっては、いろいろな方向になるため、関連性そのものでよいと考える。
- ・ 整理と助言の2つの責務がある中で、方向性を明確にしたいことから、事務局から「など」の考え方を示していただきたい。

【事務局】

- ・ **資料3**の記載を「など」とした理由については、ネーミングライツの導入については全国でいろいろな事例があるため、関連性以外にも助言をいただくことを想定しているためである。
- ・ 例えば、1つの事例として、「ベルモール前」を駅名そのものにする方法と副駅名として導入する方法などがある。
- ・ 仮に本市の事例に置き換えて考えてみたときに、「ベルモール前」の地名である「陽東5丁目」を主な駅名とし、副駅名として活用しているところもある。また、「本田技研北門」についても、「下高根沢」を主な駅名とし、副駅名として活用とする方法もある。

【地域委員】

- ・ 「など」という捉え方については、本件のみならず、民間企業の参画は、地域の社会貢献にも関わってくることから、そこまで含めての関連性と考える。

【事務局】

- ・ 民間企業の社会貢献については、SDGsの観点からも重要であると考えている。
- ・ 吉澤委員からの助言に関しては、重要な部分だと思うので、改めて整理させていただく。

【委員長】

- ・ **資料3**の【留意事項】③を見直すということとそれに関連し、ネーミングライツの導入についても整理し直して、次回以降の名称検討委員会に出していただくということによろしいか。

【各委員，了承】

(3) 検討フローについて・・・資料4

【事務局】

- ・ 資料4 説明

【委員長】

- ・ 皆様から意見等があればお願いします。

【中尾委員】

- ・ 資料4の工程を見ると全体的に遅いと感じる。第6回が8月となっており、そこから、芳賀町・宇都宮市に提案となっているが、マスコミへの発表の時期はいつになるのか。できれば早く発表していただきたい。その理由は、沿線の皆様が自分たちの停留場がどのような名称になるのかとの高い関心がある。月1回のペースで開催し、来年の5月ぐらいには、結論を出し、6月～7月には、町内に知れ渡って、LRTを迎え入れる気持ちを高めていきたい。
- ・ 停留場は街のシンボルになることから、工程を早めていただきたい。ほとんどの停留場の名称は地名や公共施設の名称であることから、課題となる停留場の名称は限られていると考える。

【地域委員】

- ・ 参考資料1で壁面の利活用について記載があるが、どのような考え方で壁面の利活用を図るのか。壁面の利活用の進行状況についても名称検討委員会で報告していただき、壁面の利活用とLRT停留場名称選定の関連性を持たせるべきと考える。

【地域委員】

- ・ 市民参加のあり方については、結果だけではなく過程もアピールして、LRTに目を向かせる大きな取り組みになると思う。
- ・ 資料4の検討フロー（案）に記載のあるとおり、「第3回委員会」、「第4回委員会」で、どれだけ市民を巻き込んで議論できるかが重要だと思う。
- ・ また、資料3については、市・町としての考えと、名称検討委員会で検討することについて整理し、お示しいただきたい。

【委員長】

- ・ **資料3**については、事務局の方で整理していただき、**資料4**の検討フローについては、臨機応変に対応していただきたい。
- ・ 市民参加については、車両デザインを決めるときには約1万6千人の方から投票いただいた結果、「自分たちの車両」という意識が強くなったと思う。市民参加も今後、どのような形で行うのか、非常に大事なことから、検討していただきたい。
- ・ ネーミングライツの導入については、市の考え方と名称検討委員会で検討するべき事項を整理していただき、次回以降、議論していくことでよろしいか。

【各委員，了承】

5 その他

【事務局】

- ・ 次回の名称検討委員会については、後日、改めてご案内させていただく。
- ・ 以上で、本日の会議を終了する。

以上